



*Reach Beyond, Together*  
一緒に、その先へ

# 2025年3月期 第3四半期 決算発表カンファレンスコール

2025年1月31日

JCRファーマ株式会社

【証券コード】 4552

【問合せ先】 経営戦略本部 広報・IR室 (TEL 0797-32-1995)

# 2025年3月期 第3四半期 連結業績

伊藤 洋  
上席執行役員 経営戦略本部長

1

2025年3月期 第3四半期 連結業績

2

開発品目の進捗

3

連結業績予想の修正

(単位：百万円)

連結	2024年3月期	2025年3月期		
	Q3累計	Q3累計	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	33,718	<b>25,880</b>	▲7,837	▲23.2%
売上原価	8,423	<b>7,007</b>	▲1,415	▲16.8%
売上総利益	25,295	<b>18,873</b>	▲6,422	▲25.4%
販売費及び一般管理費	17,486	<b>19,627</b>	+2,141	+12.2%
販売・一般管理費	9,127	<b>9,702</b>	+575	+6.3%
研究開発費	8,359	<b>9,925</b>	+1,566	+18.7%
営業利益	7,809	<b>▲754</b>	▲8,563	-
営業外収益	575	<b>200</b>	▲374	▲65.1%
営業外費用	995	<b>827</b>	▲168	▲16.9%
経常利益	7,388	<b>▲1,380</b>	▲8,769	-
特別利益	0	<b>1,065</b>	+1,064	-
特別損失	18	<b>2</b>	▲15	▲88.5%
税引前純利益	7,371	<b>▲317</b>	▲7,688	-
法人税等	2,210	<b>258</b>	▲1,951	▲88.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,160	<b>▲576</b>	▲5,737	-
(ご参考) 共同開発先による負担控除前の研究開発費	9,508	<b>11,121</b>	+1,613	+17.0%

## 連結決算概要に関する補足説明

- ・ 契約金を除く売上原価率は好調に推移しました。
- ・ 一般管理費には、神戸サイエンスパークセンター新製剤棟の建設に伴う減価償却費を計上。今年度末までに圧縮未決算特別勘定と相殺される見込みです。
- ・ 研究開発費の増加は、海外での開発体制の整備と臨床試験の進捗によるものです。
- ・ 特別利益には新株予約権戻入益、契約解約益を計上しています。

対売上高	2024年3月期 Q3累計	2025年3月期 Q3累計	増減
売上原価率	25.0%	<b>27.1%</b>	+2.1%
売上原価率 (契約金除く)	31.7%	<b>27.6%</b>	▲4.0%
研究開発費率	24.8%	<b>38.3%</b>	+13.6%
営業利益率	23.2%	<b>▲2.9%</b>	▲26.1%

(単位：百万円)

連結	2024年3月期	2025年3月期		
	Q3累計	Q3累計	前年同期比	
			増減額	増減率
グロウジェクト®	13,995	14,177	+182	+1.3%
イズカーゴ®	3,969*	4,456	+486	+12.3%
テムセル®HS注	2,699	2,296	▲402	▲14.9%
腎性貧血治療薬	3,673	2,595	▲1,078	▲29.3%
エポエチンアルファ BS注「JCR」	1,681	1,250	▲430	▲25.6%
ダルベポエチン アルファ BS注「JCR」	1,992	1,345	▲647	▲32.5%
アガルシダーゼ ベータ BS点滴静注「JCR」	998	1,149	+150	+15.1%
<b>医薬品合計</b>	<b>25,336</b>	<b>24,675</b>	<b>▲660</b>	<b>▲2.6%</b>
契約金収入	7,112	517	▲6,595	▲92.7%
その他	1,269*	688	▲581	▲45.8%
<b>売上高合計</b>	<b>33,718</b>	<b>25,880</b>	<b>▲7,837</b>	<b>▲23.2%</b>

## 売上高内訳に関する補足説明

- グロウジェクト® の売上高は前年同期比1.3%増加し堅調に推移しています。
- イズカーゴ® の売上高は前年同期比12.3%増加し好調に推移しています。
- テムセル® の売上高は競合環境の変化により前年同期比14.9%減となりましたが、通期予想に対しては堅調に推移しています。
- 腎性貧血治療薬のうちエポエチンアルファBS注「JCR」は期初計画を下回る見込みです。
- アガルシダーゼ ベータBS点滴静注「JCR」については、販売先である住友ファーマ株式会社での販売が好調に推移しています。
- 契約金収入には他社との共同研究におけるマイルストーン獲得分が含まれます。また第4四半期に主要な契約金収入の計上を見込みます。
- その他の売上高減少は受託製造売上の減少によるものです。

\*イズカーゴ® のNPSプログラムの売上高を「その他」に組み替えました。そのため、ここに記載されている2024年3月期Q3の数値は、2024年1月26日に公表された数値と異なります。

## 3品目3試験について、第1例目への投与を開始

**JR-441**

血液脳関門通過型 遺伝子組換えヘパランN-スルファターゼ  
適応症：ムコ多糖症IIIA型

- 日本：臨床第 I 相試験（JR-441-JP11試験）

**JR-446**

血液脳関門通過型 遺伝子組換え $\alpha$ -N-アセチルグルコサミニダーゼ  
適応症：ムコ多糖症IIIB型

- 日本：臨床第 I/II 相試験（JR-446-101試験）

**JR-142**

遺伝子組換え持続型成長ホルモン  
適応症：骨端線閉鎖を伴わない成長ホルモン分泌不全性低身長症

- 日本：臨床第III相試験（JR-142-301試験）

開発番号	適応症	開発段階				備考
		前臨床	Phase 1	Phase 2	Phase 3	
JR-141	ムコ多糖症II型（ハンター症候群）	Global Ph3				<ul style="list-style-type: none"> <li>2025年度 第3四半期：登録完了予定</li> <li>～2027年度 米国・欧州・ブラジルでの承認予定</li> </ul>
JR-171	ムコ多糖症I型（ハーラー症候群 等）	Global Ph1/2 completed				<ul style="list-style-type: none"> <li>継続試験が進行中</li> <li>導出に向けて交渉中</li> </ul>
JR-142	骨端線閉鎖を伴わない 成長ホルモン分泌不全性低身長症	Ph3（日本）				<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年12月 Ph3初回投与</li> </ul>
JR-441	ムコ多糖症IIIA型（サンフィリップ症候群A型）	Ph1/2（ドイツ）				<Ph1/2> ・ 目標症例数の登録完了 ・ 2025年度 下半期 データ（1年）の解析完了 <Ph1> ・ 2024年10月 初回投与
		Ph1（日本）				
JR-446	ムコ多糖症IIIB型（サンフィリップ症候群B型）	Ph1/2（日本）				<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年12月 Ph1/2初回投与</li> </ul>
JR-471	フコシドーシス					—

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
業績予想修正前	41,300	5,400	4,600	3,700	29.65
<b>業績予想修正後</b>	<b>39,000</b>	<b>1,400</b>	<b>750</b>	<b>2,200</b>	<b>17.77</b>
増減額	▲2,300	▲4,000	▲3,850	▲1,500	-
増減率	▲5.6%	▲74.1%	▲83.7%	▲40.5%	-
(参考) 前期実績(2024年3月期)	42,871	7,531	7,264	5,507	44.13

- 売上高：製品売上は概ね計画通りに推移している一方、契約金収入について、JR-171の海外ライセンス契約が今期中の契約締結には至らない見通しであることから修正しました。
- 営業利益：売上高の減少による売上総利益の減少に加えて、売上原価や販管費の増加により、14億円に下方修正しました。
  - ✓ 売上原価：原価率の低減はあるものの、製造資材等の廃棄費用の増加が見込まれるため、7億円増額修正
  - ✓ 販売費及び一般管理費を4億円、研究開発費を6億円増額修正



# 2025年3月期 連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	業績予想修正前	業績予想修正後	増減額	増減率	(参考) 前期実績 (2024年3月期)
グロウジェクト®	18,300	<b>18,300</b>	-	-	17,913
イズカーゴ®	5,700	<b>5,800</b>	+100	+1.8%	5,171
テムセル®HS注	2,800	<b>2,900</b>	+100	+3.6%	3,236
腎性貧血治療薬	4,200	<b>3,700</b>	▲500	▲11.9%	4,652
エポエチンアルファBS注「JCR」	2,200	<b>1,700</b>	▲500	▲22.7%	1,994
ダルベポエチン アルファBS注「JCR」	2,000	<b>2,000</b>	-	-	2,658
アガルシダーゼ ベータBS点滴静注「JCR」	1,100	<b>1,100</b>	-	-	1,661
<b>医薬品合計</b>	32,100	<b>31,800</b>	▲300	▲0.9%	32,636
契約金収入	8,100	<b>6,100</b>	▲2,000	▲24.7%	7,413
その他	1,100	<b>1,100</b>	-	-	2,820
<b>売上高合計</b>	41,300	<b>39,000</b>	▲2,300	▲5.6%	42,871

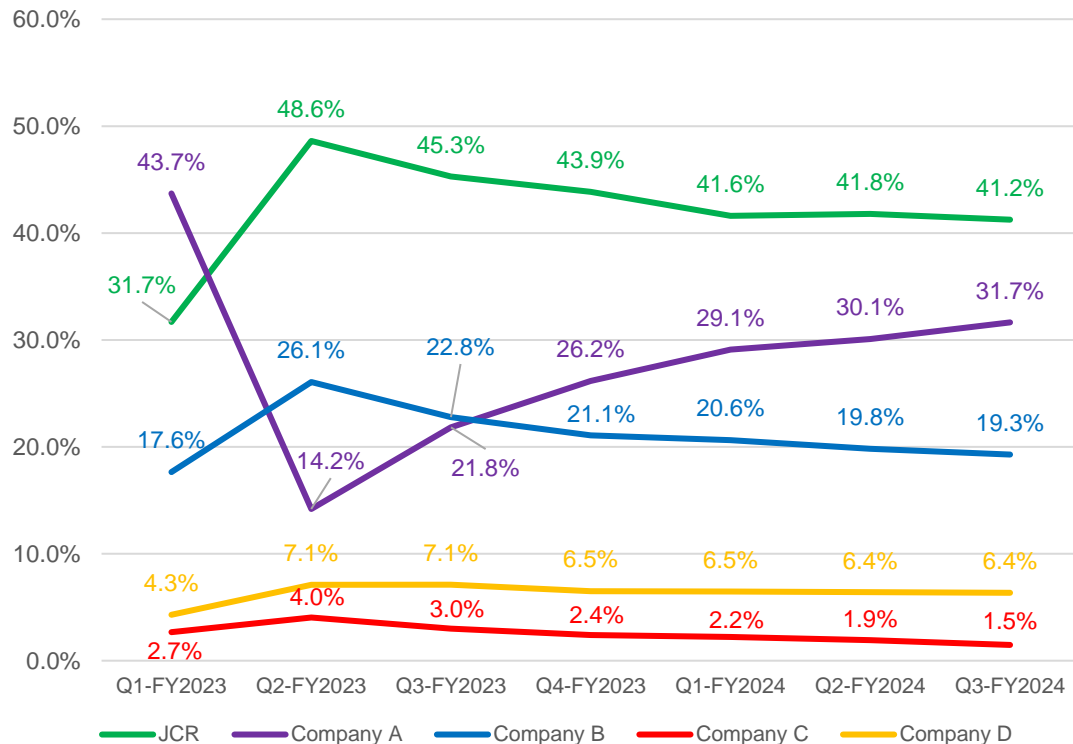
***Reach Beyond, Together***

一緒に、その先へ



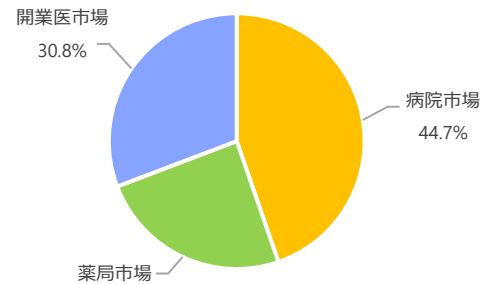
# Appendix

国内GH市場シェア推移（FY2023 Q1～FY2024 Q3） ※薬価ベース



Copyright © 2025 IQVIA, JPM(2023年4月～2024年12月)を基に自社分析/無断転載禁止  
GH : Growth hormone (成長ホルモン製剤)

## ■国内GH市場



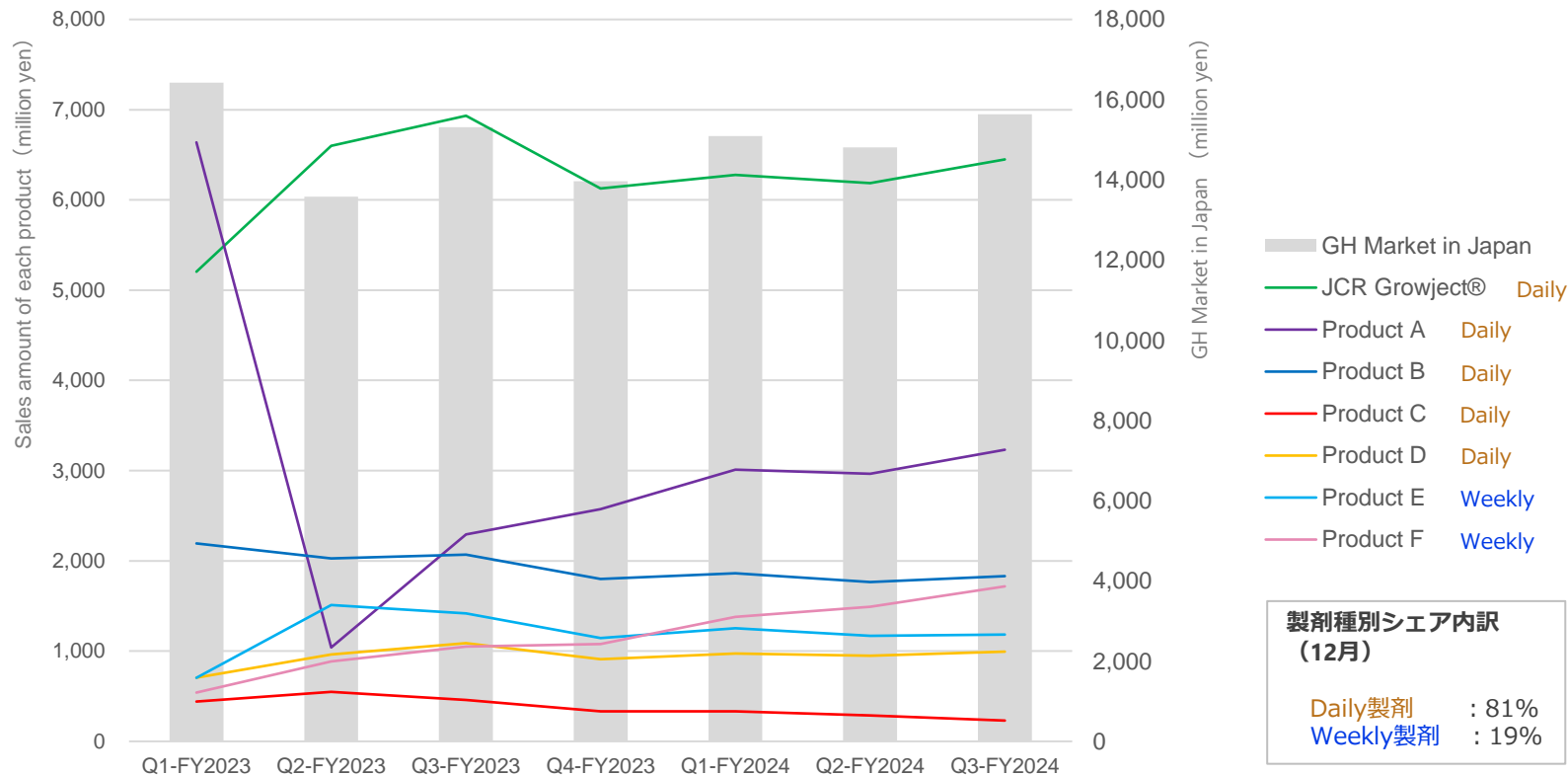
Copyright © 2025 IQVIA, JPM 2024年12月MATを基に作成  
(市場定義はJCRファーマ株式会社による) 無断転載禁止

## ■各市場別 グロウジェクト®獲得シェア

	2024年 12月時点	FY2024 Q3売上増減 (vs FY2023 Q3売上) ※薬価ベース
病院市場	33.6%	-334百万円
薬局市場	31.2%	-149百万円
開業医市場	61.1%	+250百万円

Copyright © 2025 IQVIA, JPM (2024年10月-2024年12月)を基に作成  
(市場定義はJCRファーマ株式会社による) 無断転載禁止

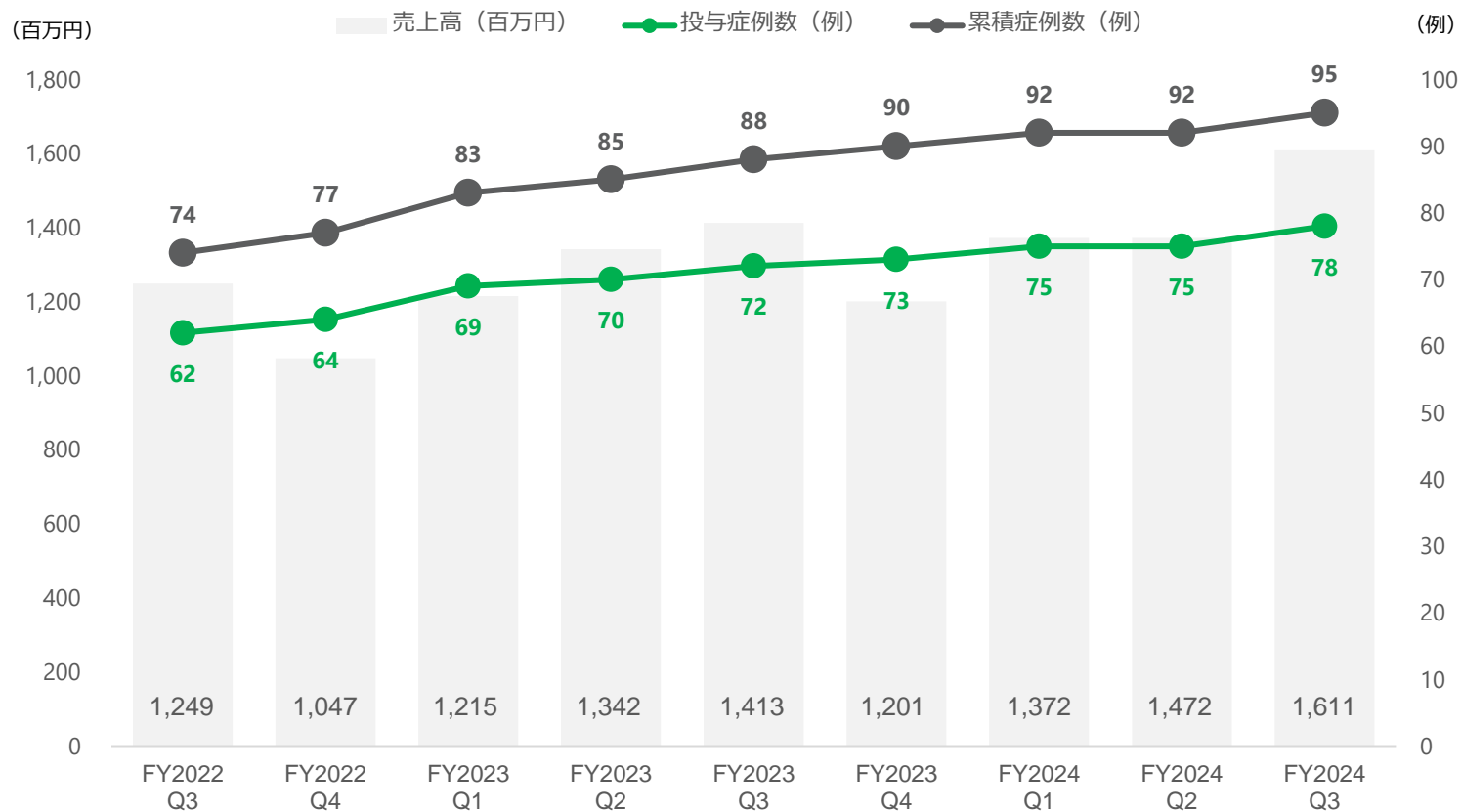
国内GH市場推移（FY2023 Q1～FY2024 Q3） ※薬価ベース



**製剤種別シェア内訳 (12月)**

Daily製剤 : 81%

Weekly製剤 : 19%



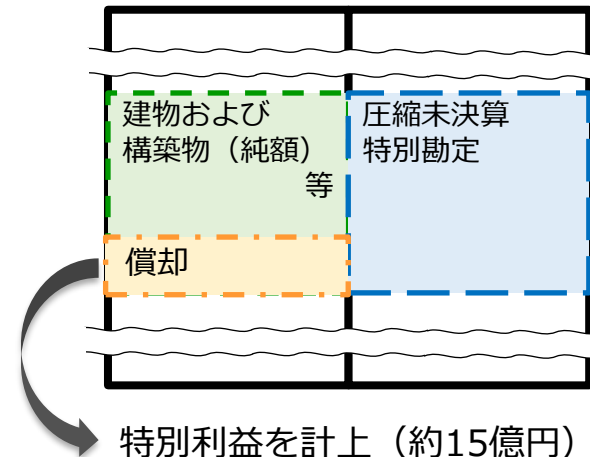
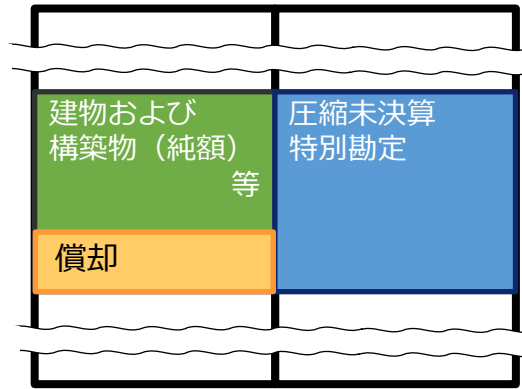
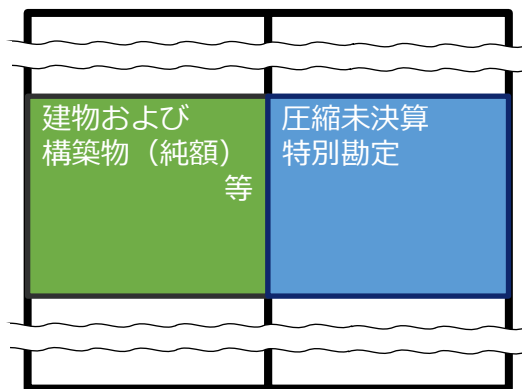
第3四半期決算において、神戸サイエンスパークセンターの減価償却費のうち約5億円を販管費に約1億円を営業外費用に計上

建設仮勘定からの振り替え時

2024年3月末時点

2025年3月末時点（予定）

- 建設仮勘定から有形固定資産に振り替え
- FY2023 2Qの稼働開始に伴い、一部を償却（約6億円）
- 補助金対象分を圧縮未決算特別勘定と相殺（圧縮記帳）
- 償却分を特別利益として計上



※貸借対照表における補助金対象分のみを図示

AAV	Adeno-Associated Virus	アデノ随伴ウイルス
BBB	Blood-Brain Barrier	血液脳関門
CNS	Central Nervous System	中枢神経系
CSF	Cerebrospinal fluid	脳脊髄液
CTN	Clinical Trial Notification	治験計画届
EC	European Commission	欧州委員会
EMA	European Medicines Agency	欧州医薬品庁
ERT	Enzyme Replacement Therapy	酵素補充療法
EU	European Union	欧州連合
FDA	Food and Drug Administration	米国食品医薬品局
GHD	Growth Hormone Deficiency	成長ホルモン分泌不全性低身長症



HS	Heparan Sulfate	ヘパラン硫酸
i.v.	Intravenous Injection	静脈注射
JBC	J-Brain Cargo®	-
LNP	Lipid nanoparticle	脂質ナノ粒子
MPS	Mucopolysaccharidosis	ムコ多糖症
NPS	Named Patient Supply	特定の患者への医薬品提供プログラム
ODD	Orphan Drug Designation	希少疾病用医薬品指定
Ph I	Phase I	臨床第 1 相試験
Ph II	Phase II	臨床第 2 相試験
Ph III	Phase III	臨床第 3 相試験
PRIME	Priority Medicines	アンメットメディカルニーズを対象とした医薬品の開発支援を強化するためのスキーム
R&D	Research and Development	研究開発
siRNA	small interfering RNA	短鎖干渉RNA
TBD	To be determined	未定

- 本資料におきまして、当社に関する業績、その他予想、見通し、目標、計画、その他の将来に関する事項が含まれています。これらの事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しています。したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画・目標等が記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、開発の成否・進捗その他の見通し等が記載内容と大きく異なる可能性があります。
- 本資料には医薬品・医療機器（開発中のものを含む）に関する情報が含まれていますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイス等を目的とするものではありません。
- 本資料の数字は百万円以下切り捨て、パーセンテージを任意の位で四捨五入し表示しています。そのため、合計数時に差異が生じる場合があります。